

HPV ワクチンとがん検診を受けましょう

問 健康推進課健康管理係 ☎ 575-1116

子宮頸がんとは

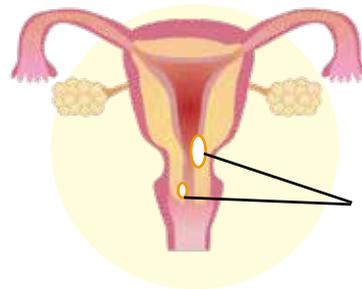
子宮頸がんは子宮の入口にできるがんのことで、子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるものです。

30歳代から40歳代の女性に多いがんですが、近年20歳代女性の発症も増加しています。毎年、全国で約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、約3,000人の女性が亡くなっています。

ワクチン接種で
HPV 感染予防

+

子宮頸がん検診で
早期発見・治療



子宮頸がん



市HP

- 接種を希望する人は市ホームページをご確認ください。(予診票の再交付申請も市ホームページから可能です)

HPV ワクチン

HPVは女性の多くが一生涯に一度は感染すると言われています。ワクチンを接種することにより、HPVの感染を防ぐことができます。

HPV ワクチンの対象者

(料金は無料)

※本来は5~9万円かかります。

●定期予防接種

小学6年生~高校1年生相当の女性

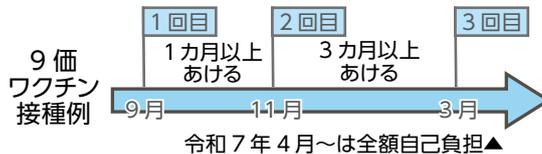
●キャッチアップ接種

平成9年4月2日~平成20年4月1日生まれで、ワクチン未接種の女性

高校1年生と キャッチアップ接種対象の人へ

ワクチンを無料で受けられるのは、令和7年3月までです。ワクチンは3回接種する必要がありますので、9月頃までに1回目の接種を受けましょう。

●一般的な接種スケジュール



※年齢やワクチンの種類によって、接種スケジュールは異なります。

子宮頸がん検診

検診を受診することで、がんの早期発見・治療に繋がりを、命を落とすリスクが減ります。

また、がんを早期に発見できれば、子宮を取らずに治療ができ、がんになっても妊娠可能な場合もあります。

子宮頸がん検診の対象者

- 20歳以上の女性

定期的
に受診
しましょう

- 対象者には6月上旬に伊達市から、検診の案内を送付しています。
- 検診実施期間は令和6年8月1日(土)~令和7年2月28日(金)です。
- 20歳を過ぎたら2年に1回の子宮頸がん検診を受けましょう。

